

## 国民スポーツ大会三重県選手団選考基準（2024年度版）

### 1. 選考方法

成年の部および少年の部とも、第1次選考会の後、第2次選考会を行なう。但し、特別な事情が生じた場合、第3次選考会を行なうことがある。

### 2. 選手選考基準

選考については、選手強化部にて原案を作成し、理事会の承認を得て決定する。

#### 《 成年の部 》

- ① 第2次選考会の1位の選手は代表選手に決定する。
- ② 残りの代表選手および予備登録選手については、第2次選考会に出場した選手から、選考会での試合内容および実績等を考慮し、監督および選手強化部にて選考する。
- ③ 下記の該当者がいる場合は、選考会を免除とし代表選手に決定する。但し、代表選手は2名までとし、対象者が2名を超えた場合は、監督および選手強化部にて代表選手2名を決定する。
  - 日本スポーツ協会の定めるトップアスリート参加資格特例措置対象者
  - 日本スポーツ協会および日本卓球協会が免除対象大会として認めたオリンピック競技大会等の国際大会代表選手になった者
  - 過去2年間の全日本卓球選手権大会（一般シングルの部）でベスト16に入った者
  - 過去2年間のTリーグのシングルス（ビクトリーマッチは除く）で1年間に3勝以上した者

#### 《 少年の部 》

- ① 三重県ジュニアポイントランキング（三重県中学校卓球選手権大会終了時点）の中学3年生以上で下記の対象選手は代表選手に決定する。
  - 700ポイント以上の上位2名
  - 誰も700ポイントに満たない場合は、ポイントランキング最上位の選手1名
- ② 2番目以降の選手は、第2次選考会に出場した選手の上位より1名または2名を代表選手に決定する。
- ③ 予備登録選手については、第2次選考会の順位に関わらず、監督および選手強化部にて選考する。

### 3. 第1次選考会免除者

#### 《 成年の部 》

- ① JOCエリートアカデミーに係る選手で、エリートアカデミーに入校する直前まで三重県内の小学校に通学していたか、または三重県内の小学校を卒業した者で「ふるさと選手」として登録した者
- ② 前年度、全日本卓球選手権大会（一般シングルの部）および国民スポーツ大会（ブロック大会も含む）（成年の部）に出場した者

- ③ 前年度、下記大会のベスト16以上の者
  - 全日本社会人卓球選手権大会(シングルス部)
  - 全日本大学総合卓球選手権大会(シングルス部)
  - 全日本学生選抜卓球選手権大会

#### 《 少年の部 》

- ① JOCエリートアカデミーに係る選手で、エリートアカデミーに入校する直前まで三重県内の小学校に通学していたか、または三重県内の小学校を卒業した者で「ふるさと選手」として登録した者
- ② 三重県ジュニアポイントランキング(三重県中学校卓球選手権大会終了時点)の中学3年生以上で、上記の2.選手選考基準 《 少年の部 》 ①および②の選手を除く上位4名

### 4. 第1次選考会通過者

#### 《 成年男子の部 》

第1次選考会の上位1名

#### 《 成年女子の部 》

第1次選考会の上位2名

#### 《 少年男女の部 》

第1次選考会の上位2名

### 5. 監督・コーチ選考基準

選考については、選手強化部にて原案を作成し、理事会の承認を得て決定する。

#### 《 成年の部 》

- ① 監督は、選手強化部にて日本スポーツ協会および日本卓球協会認定の公認スポーツ指導者資格を有する者(以下、「有資格者」という。)から選考
- ② コーチは、選手強化部にて選考

#### 《 少年の部 》

- ① 監督は、代表選手の多く所属するチームの役職者の中から有資格者を選考。但し、監督を辞退した場合および有資格者がいない場合は、選手強化部にて有資格者を選考
- ② また、代表選手が全て別のチームに所属する場合は、選手強化部にて有資格者を選考
- ③ コーチは、選手強化部にて選考